

学科名	電気通信工学科						
科目名	電気電子数学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込システムコース)・必修科目(電気エネルギーコース)・必修科目(情報システムコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・初等関数を微分することができる。 ・合成関数の微分法を使うことができる。 ・関数のグラフを描くことができる。 ・不定積分の基本公式を使うことができる。 ・置換積分法、部分積分法を使うことができる。簡単な定積分の応用問題が解ける。 						
日程と内容	9月20日 導入, 成績評価の方法, 関数と逆関数 9月27日 極限, 極限に関する公式 10月 4日 導関数, いくつかの重要な導関数 10月11日 合成関数の導関数, 関数の積の導関数 10月18日 中間値の定理, 平均値の定理 10月26日 テーラー展開, マクローリン展開 11月 1日 小試験 11月 8日 原始関数, 不定積分 11月15日 置換積分・部分積分 11月22日 部分分数分解による積分, 他 11月29日 定積分(原始関数による計算) 12月 6日 定積分・広義積分 12月13日 定積分の応用(面積, 体積) 12月20日 定積分の応用(変位と速度, 実効値) 1月10日 定期試験 1月24日 さらに数学を学ぶために						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	授業の到達目標は講義を通して達成できた。また、個々の受講者の到達度は、学期中の小試験と定期試験で評価できた。						
反省点	演習と対の科目であるので、講義中に例題を多く解くことはしなかった。このため、予習をせずに授業に臨んだ学生には、一部の箇所では講義内容が難解であったようだ。もうすこし丁寧な説明と予習・復習の需要さを強調すべきであった。						
来年度の計画	今年度と同じ内容、同じ方法で進める。						
授業評価アンケートに対するコメント	講義内容の理解度に関する評価は低くなかったが、それが試験の成績には反映されていない。講義の説明を、単なる言葉ではなく論理として理解してほしい。						
履修登録者数	70名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	55名	合格率	83%